

社会保険中京病院皮膚科 業績

2007年

論文

1. 岩田洋平、臼田俊和
悪性黒色腫と MRM (メディカルリスクマネジメント)
皮膚臨床 : 49(3):299-305, 2007
2. 臼田俊和、岩田洋平
連続縫縮術 (Serial excision) による母斑・血管腫の治療
日本皮膚外科学会誌 : 11(2):154-155, 2007
3. 臼田俊和
熱傷
日本皮膚科学会誌 (皮膚科セミナーウム 第 27 回 物理・化学的皮膚障害) : 117(7):1107-1119, 2007
4. 臼田俊和
成人 Still 病 (重症皮膚疾患のフラッグサイン～皮膚からのシグナルを見逃さない)
Visual Dermatology : 6(11):1156-1157, 2007
5. 岩田洋平、臼田俊和、飯島亜由子、村瀬由美、東谷 薫、村上 榮、原 一夫
巨大腫瘤を形成した pilomatrix carcinoma の 1 例
Skin Cancer : 22(2):111-115, 2007
6. 臼田俊和
シェーグレン症候群
日本皮膚科学会雑誌 : 117(13):2340-2341, 2007
7. 村瀬由美、東谷 薫、岩田洋平、臼田俊和
皮膚潰瘍を伴ったサルコイドーシスの 1 例
皮膚臨床 : 49(11):1385-1388, 2007
8. 飯島亜由子、小寺雅也、臼田俊和、村瀬由美、長谷川 泉
高度の食道狭窄によりバルーン拡張術を施行した全身性強皮症の 1 例
皮膚科の臨床 : 49(12):1475-1478, 2007
9. 宮地良樹、杉浦 丹、南光弘子、臼田俊和、今福信一、森田明理
日本皮膚科学会勤務医問題委員会答申 (要約) ～病院皮膚科医が「燃え尽きない」ために
日本皮膚科学会雑誌 : 117(9):1399-1410, 2007
10. Y.Iwata, F.Ogawa, K.Komura, E.Muroi, T.Hara, K.Shimizu, M.Hasegawa, M.Fujimoto, Y.Tomita and S.Sato

Autoantibody against peroxiredoxin I, an antioxidant enzyme, in patients with systemic sclerosis: possible association with oxidative stress.

Rheumatology : 46: 790-795, 2007

11. Komura K, Fujimoto M, Matsushita T, Yanaba K, Koder M, Kawasuji A, Hasegawa M, Takehara K, Sato S.

Increased Serum Soluble CD40 Levels in Patients with Systemic Sclerosis.

J Rheumatol:34:353-358,2007

著書

1. 臼田俊和、平松幸恭

電撃傷の処置

皮膚科診療プラクティス 20 Environmental Dermatology (戸倉新樹、宮地良樹、瀧川雅浩、編) p169-170, 分光堂, 東京, 2007

2. 臼田俊和

熱傷：Ⅲおもな救急疾患 境界・事故関連の傷病 5.熱傷

内科医・小児科医研修医のための小児救急治療ガイドライン (市川光太郎編) p393-404, 診断と治療社, 東京, 2007

3. 臼田俊和

勤務医のための保険診療のコツ

WHAT'S NEW IN 皮膚科学 2008-2009 (宮地良樹編) p204-205, メディカルレビュー社, 東京, 2007

学会発表

1. 飯島亜由子、小寺雅也、村瀬由美、臼田俊和

発熱と背部痛を主訴とし診断に苦慮した1例

第23回名大膠原病カンファレンス, 2007/1/11, 名古屋大学病院内新中央診療棟 3F 講堂

2. 岩田洋平、小川文秀、佐藤伸一

全身性強皮症 (SSc) における、抗酸化酵素 peroxiredoxin I (Prx I) に対する自己抗体の解析

厚生労働省「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」研究班 2006 年度班会議・第10回強皮症研究会議 (SSc, Scleroderma Study Conference) 合同会議, 2007.1.13, 東京

3. 小寺雅也、臼田俊和、村瀬由美、飯島亜由子

心筋障害、肝機能障害を伴った成人発症溶連菌感染後反応性関節炎 (リウマチ熱) の一例

第30回皮膚脈管膠原病研究会, 2007/1/26, 横浜市

4. 飯島亜由子、小寺雅也、臼田俊和、村瀬由美

間質性肺炎を合併した抗アミノアシルトRNA合成酵素抗体陽性皮膚筋炎の一例

第 239 回日本皮膚科学会東海地方会, 2007/3/21, 名古屋市

5. 村瀬由美、小寺雅也、飯島亜由子、臼田俊和、佐藤文明

ACE 阻害薬による強皮症腎の治療例～強皮症腎の治療における ARB と ACE-I の比較

第 239 回日本皮膚科学会東海地方会, 2007/3/21, 名古屋市

6. 臼田俊和

シェーグレン症候群

第 106 回日本皮膚学会総会, 2007/4/22, 横浜市

7. 大村恵子、小寺雅也、飯島亜由子、臼田俊和

Limitted 型全身性強皮症の経過中にサルコイドーシスの合併を認めた 1 例

第 240 回日本皮膚科学会東海地方会, 2007/6/24, 名古屋市

8. 飯島亜由子、小寺雅也、大村恵子、村瀬由美、臼田俊和

抗アミノアシル合成酵素抗体 (ARS) 陽性の皮膚筋炎の一例

第 155 回名古屋皮膚科懇談会, 2007/4/14, 名古屋市

9. 小寺雅也

Modified Rodnan total skin score について

第 155 回名古屋皮膚科懇談会, 2007/4/14, 名古屋市

10. 岩田洋平、小川文秀、小村一浩、室井栄治、原 肇秀、清水和宏、長谷川稔、藤本 学、富田 靖、佐藤伸一

全身性強皮症患者における、抗酸化酵素 peroxiredoxin I (PrxI) に対する自己抗体の陽性頻度と臨床的意義の検討

日本研究皮膚科学会第 32 回年次学術大会・総会, 2007.4.18, 横浜

11. Iwata Y, Ogawa F, Komura K, Muroi E, Hara T, Shimizu K, Hasegawa M, Fujimoto M, Sato S

Autoantibody against peroxiredoxin I, an antioxidant enzyme, in patients with systemic sclerosis: possible association with oxidative stress.

Professor E. Carwile LeRoy Memorial International Workshop on Scleroderma, 2007.5.18, Tokyo

12. 小寺雅也

接着分子の臨床への応用

名古屋皮膚科懇談会 2007/7/28 名古屋市

13. 大村恵子

著明な汎血球減少を呈した全身性エリテマトーデスの 1 例

第 1 回名古屋膠原病カンファレンス, 2007/9/20, 名古屋市

14. 大村恵子、小寺雅也、飯島亜由子、臼田俊和

著明な汎血球減少を生じた全身性エリテマトーデスの 1 例

第 241 回日本皮膚科学会東海地方会, 2007/9/16, 名古屋市

15. 岩田洋平、小村一浩、横山洋子、小川文秀、竹中 基、小寺雅也、臼田俊和、佐藤伸一

類天疱瘡患者における IgE 型 BP180 抗体の陽性頻度と臨床的意義の検討

第 58 回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2007/10/20, 京都市

16. 飯島亜由子、小寺雅也、村瀬由美、大村恵子、臼田俊和、岩田洋平、佐藤伸一、小村一浩、橋本 隆

浮腫性紅斑を主徴とした水疱性類天疱瘡の 2 例

第 58 回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2007/10/20, 京都市

17. 小寺雅也、飯島亜由子、村瀬由美、大村恵子、臼田俊和

活動性肺炎を有する全身性強皮症の 2 例

第 58 回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2007/10/20, 京都市

18. 吉田 紫、大村恵子、室 慶直、富田 靖

重篤な多臓器病変を呈した強皮症の 1 例

第 58 回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2007/10/21, 京都市

19. Yohei Iwata, Fumihide Ogawa, Kazuhiro Komura, Eiji Muroi, Toshihide Hara, Kazuhiro Shimizu, Minoru Hasegawa, Manabu Fujimoto, Yasushi Tomita, Shinichi Sato

Autoantibody against Peroxiredoxin I, an Antioxidant Enzyme, in Patients with Systemic Sclerosis: Possible Association with Oxidative Stress.

American college of Rheumatology, annual scientific meeting, November 9, 2007, Boston

20. Yohei Iwata, Kazuhiro Komura, Fumihide Ogawa, Toshihide Hara, Kazuhiro Shimizu, Bae Sangjae, Yasushi Tomita, Thomas F. Tedder, Shinichi Sato

CD19, a critical signal transduction molecule of B lymphocytes, regulates skin wound healing through controlling toll-like receptor signaling and cytokine production by B lymphocytes.

American college of Rheumatology, annual scientific meeting, November 10, 2007, Boston

21. 大村恵子、小寺雅也、飯島亜由子、村瀬由美、臼田俊和

サイトメガロウイルスの再活性化の関与が考えられた Drug-induced hypersensitivity syndrome の 1 例

第 242 回日本皮膚科学会東海地方会, 2007/12/2, 名古屋市